

CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大光電機株式会社新技術センター	階数	地上2F
建設地	東大阪市角田一丁目693番2、694番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域、防火地域	平均居住人員	120 人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,500 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年12月22日
敷地面積	4,983 m ²	作成者	㈱大林組 西森史裕
建築面積	2,293 m ²	確認日	2015年12月22日
延床面積	3,856 m ²	確認者	㈱大林組 東井嘉信



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 89% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 ・高効率な設備機器の導入、リサイクル材や節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。 ・室外環境については、積極的に緑化を行い、生物資源の創出や温熱環境負荷の向上を図っている。また、各所に設置したテラスに植栽することで、室内に屋光を取り入れやすくする等、室内環境・快適性の向上を図っている。		その他 -
Q1 室内環境 ・事務室の空調方式は床吹き出しを採用し、室内環境に配慮する。 ・トップライトの採用、建物の中央にテラス(中庭)を設ける等、積極的な屋光利用に配慮する。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮する。 ・災害時の通信・情報入手手段を確保し、災害時の機能維持、建物の信頼性の向上に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・外構の植栽だけでなく、屋上への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー ・断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。 ・高効率な設備システムの導入により、エネルギー消費量を抑える。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮する。 ・GWPの低い断熱材の採用により、フロン・ハロンの使用を回避している。 ・リサイクル材や再利用可能なユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮する。 ・駐車場・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0088

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	大光電機株式会社新技術センター計画					
		建設地	東大阪市角田一丁目693番2、694番1、695番、696番					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				3		
	省エネ対策	★★★★☆				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								